

## 事業報告

(2022年1月1日から2022年12月31日まで)

当連結会計年度（2022年1月1日～2022年12月31日）における国内経済は、2022年1月から新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるまん延防止等重点措置（以下、重点措置）が全国的に適用されたことにより、経済活動の回復が鈍化しました。その後、3月に重点措置が解除されて以降は回復基調となったものの、ウクライナ情勢をめぐる資源価格の高騰や急激な円安による物価上昇圧力等の経済への悪影響が引き続き懸念材料となり、先行きの見通しにくい経営環境が続いています。このような環境のもと、当社企業グループは、当連結会計年度も直営ホテルでの一定程度感染症の影響は継続する前提としながらも、安定収益基盤の強化を図るとともに、将来の成長に向けた基盤整備を進めました。

国内におけるオフィスビル賃貸市場については、東京都心5区における2022年12月末時点の平均空室率は6.47%と、前年同月比0.14ポイント上昇しました。また、同エリアの同時点における平均賃料は20,059円/坪と、2020年8月から29カ月連続で下がりました。（三鬼商事調べ）。

このような状況の中、当連結会計年度も引き続きコンサルティング案件数及び不動産預り資産残高の増加に向けて取り組みました。収益力向上のための大規模改修工事を引き続き複数件実施したことにより、売上原価は増加傾向となっております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高 26,269,576 千円（前期比 30.8%増）、営業利益 1,372,465 千円（前期比 19.8%増）、経常利益 836,643 千円（前期比 60.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 258,456 千円（前期比 40.8%増）となりました。